

施策マネジメントシート(2018年度の振り返り、総括)

作成日 2019 年 6 月 25 日

基本目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じるまち	主管課	名称 生活水道課 課長 金子 喜一郎
施策	11	水道の整備	関係課	

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
町民	安全な水道水の供給を安定して受けられる。	安全な水道水の供給を安定して受けられる。	1 安全な水道水の安定供給	町民	安全な水道水の供給を安定して受けられる。
			2 水道事業の健全運営	町民	適正な料金で水道水の供給を受けられる。
			3		
			4		

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清浄な水道水の供給を図り、安心安全な水道への切り替えを促進します。</li> <li>・老朽化した施設の更新を計画的に進めるため、財政健全化計画やアセットマネジメントを含む水道ビジョン等を策定し、限られた財源で最大限の成果が得られるよう取り組みを推進します。</li> </ul>
---------	--

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
				A 水道普及率	%	実績値	96.6	96.7	96.7	
			目標値		96.7	96.7	96.8	96.8	96.9	96.9
B 水質に関する苦情件数	件	実績値	0	0	0					
			目標値		0	0	0	0	0	0
C		実績値								
		目標値								
D		実績値								
		目標値								
E		実績値								
		目標値								

指標設定の考え方と実績値の把握方法	<p>A) 数値が高まれば、結果として町民が安全な水道水の供給を安定して受けられていることに繋がるため成果指標とした。 給水人口/給水区域内人口(給水人口は町営水道のみ)</p> <p>B) 件数が減れば、町民が安全な水道水の供給を安定して受けられているといえるため、成果指標とした。広範囲にわたる相当な被害で直接町に苦情を申し入れた件数。</p>
-------------------	--

目標値設定の考え方	<p>A) 水道普及率を96.9%まで向上させる。近年のライフスタイルの変化により、自家水(井戸水)などの水質が変動してきているため、地下水を利用している町民の方々に水の安全性を確認してもらい、自発的に町営水道へ移行していただく。</p> <p>B) 水質監視の強化や危機管理体制の充実を図ることにより、安心安全な水道供給に努め、苦情件数0件を目指します。</p>
-----------	--

施策のための目的・役割分担	<p>1. 町民(事業所、地域、団体)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漏水の発見などに対する通報を行う。</li> <li>・利用者として常に水道水の品質を監視する。</li> <li>・水道使用料を未納無く納入する。</li> </ul>	<p>2. 行政(町、県、国)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定水量を確保し、水質を向上させる。</li> <li>・水道施設を整備(新規・更新)する。</li> <li>・効率的な運営を図り、可能な限り水道料金の値上げ抑制を図る。</li> </ul>
---------------	--	--

施策を取り巻く状況	<p>1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少に比例し、水道料金の徴収額は上がらないことが予想される。</li> <li>・すべてが上水道事業となったため、簡易水道の補助対象外となり、併せて簡易水道債・過疎債も対象とならないため、財源(特定)の確保が難しくなる。</li> <li>・安全で安心な水道水の維持に欠かせない技術者不足が懸念される。</li> </ul>	<p>2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道料金の料金改定を望む声が寄せられている。</li> <li>・突発的な断水の周知が行き届かない事がある。特に水上地区では防災無線が無いので、問い合わせが多く寄せられる。</li> </ul>
-----------	--	--

施策	11	水道の整備	主管課	名称	生活水道課
				課長	金子 喜一郎

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①水道普及率は、平成29年度96.7%、平成30年度96.7%と横ばいである。給水区域内では今でも良質な自家水道・井戸が利用されているため、これ以上の急激な上昇は見込めない。 ②広範囲にわたる水質に関する事故(苦情)件数は0件であったが、断水工事などによる濁り苦情は若干あった。 水質が懸念されていた猿ヶ京地区の新浄水場が完成し、水質に関する苦情が解消されている。
	② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	平成30年度実績で水道普及率(96.7%)は、沼田市99.9%、昭和村99.0%、川場村99.9%と比べ下回っているが、片品村は94.5%となっており、上回っている。
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①水道普及率は目標値になった。 ②水質に関する苦情件数は目標値0に対し実績値0となり、目標どおりの成果となった。

基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				1 安全な水道水の安定供給	A 水質基準超過件数	件	実績値	0	0	0
			目標値		0	0	0	0	0	0
	B		実績値							
			目標値							
2 水道事業の健全運営	A 有収率	%	実績値	78.2	78.2	78.2				
			目標値		78.3	78.5	79.0	79.5	79.7	80.0
	B		実績値							
			目標値							
3	A		実績値							
			目標値							
	B		実績値							
			目標値							
4	A		実績値							
			目標値							
	B		実績値							
			目標値							

基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
	1 安全な水道水の安定供給	①老朽化した浄水場の統合推進、また浄水場設備や管路の更新 ②水源地の保全・確保のため水源地の公有地化の推進
2 水道事業の健全運営	①老朽化した施設の更新・改修費用の増加に伴う財源確保 ②人口減少や節水意識の浸透による料金収入の減少対策 ③経営戦略を策定する必要がある。 ④未収金対策 ⑤漏水対策	①財政バランスの取れた効率的な経営戦略の策定を行う。 ②必要に応じて給水停止処分等を行い、民間委託者と連携して徴収業務に取り組む。 ③漏水調査結果による対象箇所への修繕を行う。
3		
4		

